

[平成 13年 3月期の業績見通し]

平成 13年 3月期の連結及び単独の業績見通しにつきましては、下記の通りであります。
なお、見通し作成に当たっては、次の点を考慮して行っております。

- * 前提となる対米ドル平均市場円レートは、上期実績 107円、下期見込み 105円で、前回の下期見込み 100円に対し、円安を想定しております。
- * (連結売上高) 前回 8月時点での見通しと比べ、電子材料製品、電子デバイス製品においては引続き、通信、OA、AVと幅広い分野で市場が拡大しており、増収の見込みですが、記録デバイス製品が、歩留り改善遅れと自然災害の影響を受け減収見込みとなっております。
これにより、後者の影響が強くなる連結売上高は、前回見通しを下回るものと見込んでおります。
- * (連結営業利益) 売上高と同様に電子材料製品、電子デバイス製品が増収に増産効果も加わり、前回見通しを上回る見込みで、記録デバイス製品の落ち込みをカバーする見通しです。
- * (連結税引前利益) 退職給付信託設定益の発生(125億円)の影響で、前回見通しを上回るものと見込んでおります。

[連結業績見通し]

	今回見通し	前年比 増減率	平成12年8月時点での見通し
売上高	720,000 百万円	6.8%	730,000 百万円
営業利益	75,000	0.5%	75,000
税引前利益	86,000	17.1%	77,000
当期純利益	59,000	16.3%	54,000

[単独業績見通し]

	今回見通し	前年比 増減率	平成12年5月時点での見通し
売上高	466,000 百万円	7.2%	450,000 百万円
営業利益	20,000	4.8%	18,000
経常利益	45,000	3.0%	42,000
当期純利益	7,500	-69.2%	3,000

【見通しに関する留意事項】

この資料に記載されている平成 13年 3月期の業績見通しは、当社及び当社グループ会社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいています。従いまして、これらの業績見通しにのみを依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

当社の主たる事業活動領域であるエレクトロニクス・ビジネス市場は変動性が激しく、また、当社は国内だけでなく海外においてもビジネスを行っているため、技術、需要、価格、競争状況、経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が業績に影響を与えることがあります。